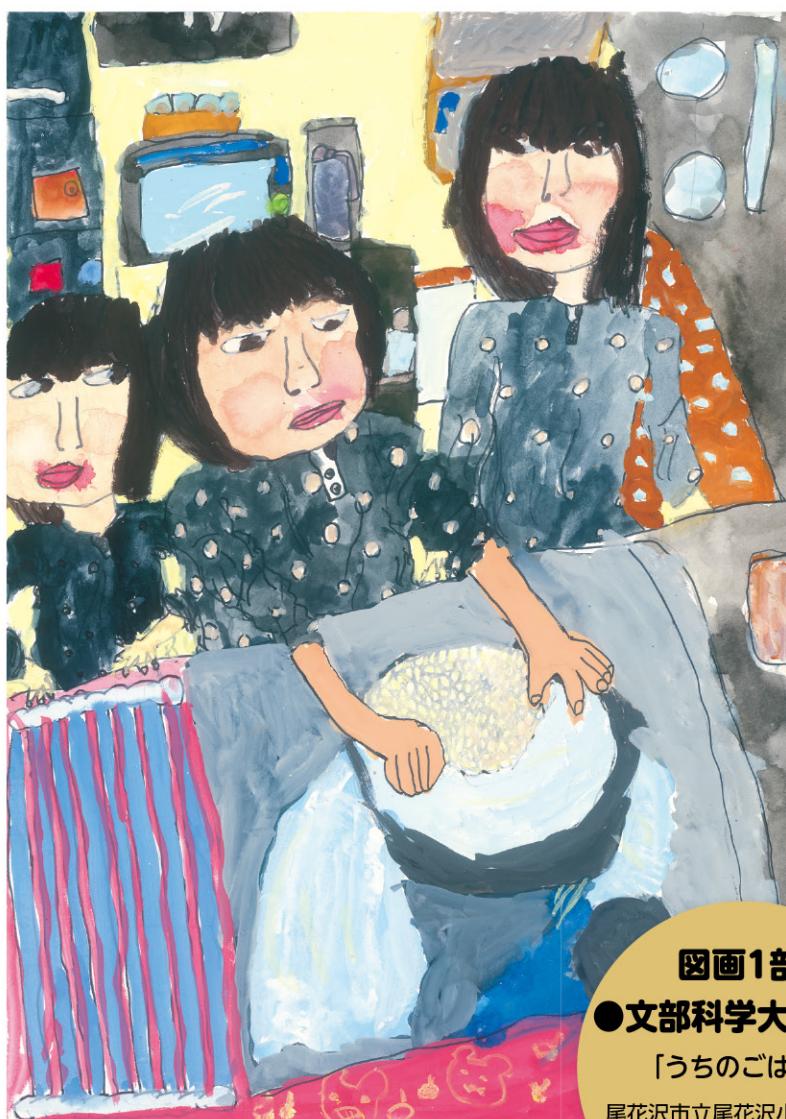


第42回

ごはん・お米とわたし

作文・図画コンクール入賞作品集



図画1部

●文部科学大臣賞●

「うちのごはん」

尾花沢市立尾花沢小学校3年

井上 花帆 さん



平成30年2月

山形県農業協同組合中央会・山形県農協農政対策本部



◆ごあいさつ

山形県農業協同組合中央会会長 長澤 豊 1

◆第42回「ごはん・お米とわたし」作文・图画コンクール入賞一覧 2

◆图画部門

文部科学大臣賞 3

图画1部／山形県知事賞

山形県農業協同組合中央会会長賞 4

图画2部／山形県知事賞

山形県農業協同組合中央会会長賞 5

图画3部／全国優秀賞・山形県知事賞

山形県農業協同組合中央会会長賞 6

◆作文部門

全国農業協同組合中央会会長賞 7

作文1部／山形県知事賞

山形県農業協同組合中央会会長賞 8

作文2部／全国優秀賞・山形県知事賞

山形県農業協同組合中央会会長賞 10

作文3部／山形県知事賞

山形県農業協同組合中央会会長賞 11

作文3部／山形県知事賞

山形県農業協同組合中央会会長賞 13

◆審査講評

作文部門審査講評 山形大学附属小学校校長 佐藤 昌彦 17

图画部門審査講評 東根市立第一中学校校長 西塚 裕樹 18

◆第31回～第42回 入賞一覧 19

◆審査経過の概要 21



ごあいさつ

山形県農業協同組合中央会

会長 長澤 豊

第四十二回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールに応募
いただいた児童・生徒の皆さんに、心からお礼申し上げます。

また、入賞された皆さん、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

私たちJAグループは、次代を担う小・中学生の皆さんに、古くから日本の食卓と国土を育んできた稻作農業、「ごはん食と健康の結びつきを見直してもらうため、昭和五一年度からこのコンクールを実施しており、今年度で四十二回目を迎えます。

今回は、県内の小・中学校から作文三八〇点、図画八九二点もの力作を応募いただき、全国コンクールに推薦することとともに、県コンクールにおいては、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会長賞、優秀賞、学校奨励賞を選考いたしました。

全国コンクールでは、図画部門で文部科学大臣賞と優秀賞、作文部門で全国農業協同組合中央会会长賞と優秀賞、学校奨励賞を受賞するすばらしい成績を收めました。これは入賞された皆さんのご努力はもちろんのこと、ご指導いただきました学校の先生方をはじめ、ご父兄の皆様、審査委員の先生方、そして山形県なればびに各JAのご支援・ご理解の賜物と心から感謝申し上げます。

今回応募いただいた作品は、家族で楽しそうに食事を準備している様子や、収穫し食べる喜びや笑顔をいきいきと表現したものなど、個性豊かですばらしいものばかりでした。「ごはん食や農業の果たす役割の大きさやありがたさが素直に表現されておりました。心に響く作品が多く、日本人の生活とお米は、深く結びついていると改めて実感したところです。

どうか皆さん、普段何気なく「ごはん」を食べることができる幸せを忘れないでください。お米を作る苦労や努力を感じ、感謝の気持ちを大切にしてください。そして、自然や生き物すべての命を大切

にする心を、いつまでも持ち続けてください。

現在、日本は、世界中の国々と貿易を行い、食料の多くを外国から輸入しています。食料自給率は三八%と、先進国の中では最低の水準にあります。世界的には、人口の増加により食料が足りなくなることが心配されており、それぞれの国が食料自給率を向上させることが大事なことだと考えていました。農業の多面的な機能を大切にすることとや食料安全保障を確保することなど、「多様な農業の共存」が国際的に認められる必要があります。

私たちJAグループは、本県の基盤産業である農業、農村を支える多様な農業者と、皆さんよりよい暮らしのお役に立てるよう、そして「なくてはならないJA」となるよう、引き続き取り組みを進めてまいります。

また私たちJAグループは、これから日本人にとって「よい食」とは何かを考え行動する「みんなのよい食プロジェクト」に取り組んでいます。日本人の主食である米をはじめとした日本型食生活の推進、地場産をはじめとした国産農畜産物の消費拡大、学校給食における安全・安心な農畜産物の提供や、食農教育の推進に向けた取り組みに一層努力してまいります。

本県産「つや姫」は、平成二二年のデビュー以来、多くの方々よりご好評をいただき、皆さんにとつてお馴染みのお米となつたことだと思います。また、今年秋には「山形から元気なお米」のキヤッチフレーズのもと「雪若丸」が本格デビューします。私たちJAグループは、これからも安全・安心でおいしいお米を皆さんにお届けしてまいりますので、応援をよろしくお願ひいたします。

最後に、当コンクールをますます発展させていただきますよう皆様からのご協力をお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

第42回「ごはん・お米とわたし」

作文・図画コンクール入賞一覧

(敬称略)

全国審査における入賞者

(図画1部) 文部科学大臣賞

井上 花帆 尾花沢市立尾花沢小学校 3年

(作文1部) 全国農業協同組合中央会会長賞

早坂 佑羽 大蔵村立大蔵小学校 2年

(作文2部) 優秀賞

佐藤 舜太 米沢市立塩井小学校 4年

(図画3部) 優秀賞

富樫 優有 山形市立金井中学校 1年

山形県審査における入賞者

作文部門

図画部門

●1部(小1～3年)

山形県知事賞	安部くるみ	米沢市立興譲小学校	3年
山形県農協中央会会長賞	佐藤 花音	三川町立東郷小学校	1年
優秀賞	鈴木 萌音	山形市立鈴川小学校	3年
	佐藤 純真	高畠町立高畠小学校	2年
	齊藤 逞真	最上町立向町小学校	1年
	阿部 璃空	新庄市立萩野学園	1年
	手塚 遙斗	高畠町立屋代小学校	3年

●2部(小4～6年)

山形県知事賞	佐藤 舜太	米沢市立塩井小学校	4年
山形県農協中央会会長賞	千田 悠悟	南陽市立沖郷小学校	4年
優秀賞	手塚 大地	米沢市立広幡小学校	6年
	加藤 韶	大蔵村立大蔵小学校	5年
	井上 櫻子	高畠町立糠野目小学校	6年
	星 七菜子	新庄市立萩野学園	4年
	阿部 真宙	最上町立大堀小学校	5年

●3部(中1～3年)

山形県知事賞	鈴木 雄貴	米沢市立第二中学校	1年
山形県農協中央会会長賞	伊藤 芽琉	山形市立第十中学校	3年
優秀賞	平清水なおり	山形市立第九中学校	3年
	高橋 陸斗	山形市立第九中学校	1年
	大橋 彩未	米沢市立第七中学校	2年
	佐藤慶太郎	川西町立川西中学校	1年
	鈴木 広美	米沢市立第二中学校	3年

●学校奨励賞

米沢市立塩井小学校
米沢市立第二中学校

●3部(中1～3年)

山形県知事賞	富樫 優有	山形市立金井中学校	1年
山形県農協中央会会長賞	石倉 妃華	山辺町立山辺中学校	3年
優秀賞	渡邊 和哉	山形市立金井中学校	1年
	齋藤 桃々	山形市立金井中学校	2年
	松田 桃香	鶴岡市立櫛引中学校	2年
	鈴木 里桜	米沢市立第六中学校	2年
	箱山 妃南	新庄市立萩野学園	8年

●学校奨励賞

山形大学附属小学校
山形市立金井中学校

图画
1部

文部科学大臣賞

うちのごはん

尾花沢市立尾花沢小学校三年

井上 花帆



●山形県知事賞●

「みんなでたべたおせきはん」

山形大学附属小学校二年

和田 紗采



●山形県農業協同組合中央会会長賞●

「かえるやたにしがいいっぱい」

南陽市立漆山小学校二年

加藤 朱葵



●山形県知事賞●

「今年も豊作だ!!」

尾花沢市立鶴子小学校五年

秋保 大地



●山形県農業協同組合中央会会長賞●

「ご飯もりもりおいしそうな」

東根市立大森小学校五年

元木 煌瑛



●全国優秀賞・山形県知事賞●

「お米料理は楽しさを生む」

山形市立金井中学校一年

富樫 優有

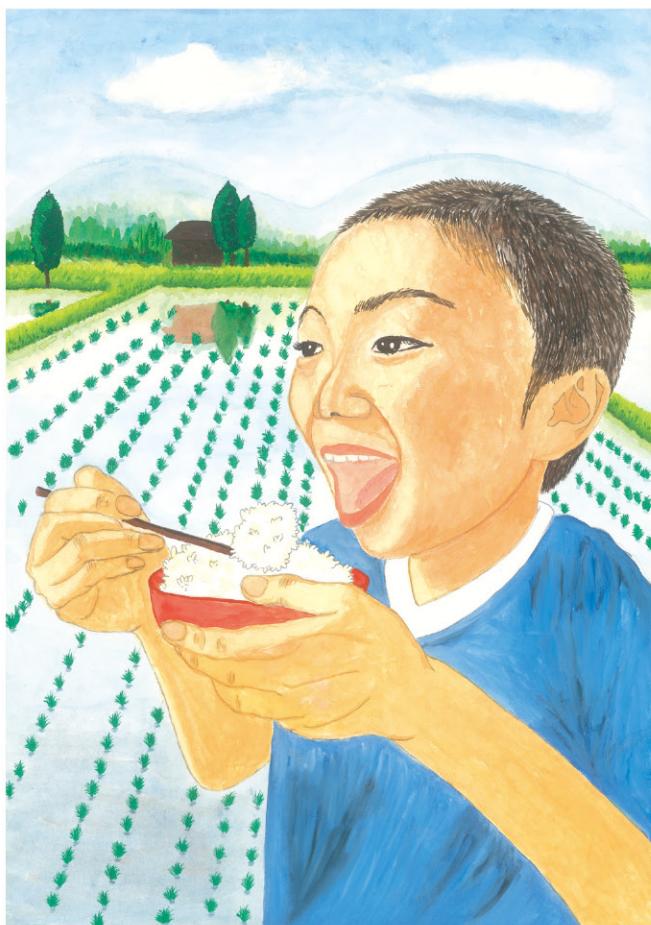


●山形県農業協同組合中央会会長賞●

「弟と田んぼ」

山辺町立山辺中学校三年

石倉 妃華



全国農業協同組合中央会会長賞

かぞくのチームワーク

大蔵村立大蔵小学校二年

早坂 佑羽

「あした、なえつくり、手つだつてくれ。」

めずらしく、おとうさんが、そう言いました。

ぼくは、すぐに、

「いいよ。」

と答えました。前からおにいちゃんが手つだつてい

た田んぼのしごとをしてみたいと思つていたから

です。いつもは、おとうさんとおかあさんとおにい

ちゃんとばあちゃんがなえつくりをします。でも、

ばあちゃんがつかれていて、一人だとたいへんなの

で、ぼくがばあちゃんのしごとを手つだうのです。

つぎの日、ぼくは、朝早く目がさめました。いよいよ、なえつくりがはじまります。ぼくは、ばあち

ゃんのするのをよく見ていました。ばあちゃんは、

はこに紙をしいて、きかいに入れました。きかいの

スイッチをおすと、土がドサッとおちてきました。ぼくも同じようにやりました。じょうずにできました。おとうさんは、ぼくたちがつくったはこの土にたねを入れます。たねが小さくてとりずらくて、たいへんそだなと思いました。おかあさんが、そこはこをトラックまではこびます。何回もはこぶので、たいへんそです。おにいちゃんは、きかいにスコップで土を入れるしごとです。水も入れます。力もちだから、このしごとができるのです。ぼくは、かぞくみんなのチームワークがとてもいいと思いました。いつもぼくがたべているおいしいおこめが、こうやつてできているんだと思うと、お手つだいにも力が入りました。

「ゆうわ、じょうずだな。」

と、おかあさんがほめてくれました。ぼくは、ますますはりきりました。かんたんだけれど、何十回もやつていると、足がいたくなりました。でも、みんなのために、おいしいおこめをつくるために、がんばりました。

これからもお手つだいをして、おいしいおこめがたべたいなと思いました。

●山形県知事賞●

一つぶの大切さ

米沢市立興譲小学校三年

安部 くるみ

六月の下じゅんに、わたしは、お母さんと『さまきづくりにちょうどせん』という行事にさんかしました。

大きなさまきを作れるとと思うと、エプロンと三角きんをつけた時から、ワクワクしました。

グループに分かれて、みんなでささの葉をクルンとつのようにして、その中にもち米を入れて

いると、講師の秋津さんが

「えー、お米落とさないでー！わたし一生けん命作ったお米なんだよー。一つぶもむだにしてほしくないよー。」

一ブルの上を見ると、パラパラともち米がこぼれ

ていました。わたしとお母さんは、「すみません。」

と、言つて、すぐにもち米をきれいに集めてボルにもどしました。少しだろうと思つていたけど、大きじーはい分位こぼしていました。わたしは、秋津さんの作ったもち米にあやまる気持ちで、今度はこぼさないようていねいに作りました。

出来上がったさまきは、上和田のささのかおりがして、もちもちとしてとてもおいしかったです。

ささまき作りの帰り道、

「直せつ農家の方の話を聞きながら、調理できただなんて、良いけいけんだつたね。秋津さんのもち米に対する思いもさきにつつめたかなー。」

と、お母さんと二人で話ました。

わたしは、この行事を通して、お米一つぶ一つぶに、真心がこめられている事を知りました。その真心に応えるために、わたしは、お米をとぐ時も、こぼさないようにあつかい、味わっていただいていきます。

●山形県農業協同組合中央会会長賞●

おこぬづくりをみつめて

三川町立東郷小学校一年

佐藤 花音

わたしのうちちは、のうかでおこめや、やさいをつくっています。このあいだ、

「おつきくなつたら、じじちゃんとぱぱといつしょに、のうかのしごと、わたしがてつだつてあげるからね。」

といいました。そうしたら、じじちゃんが、「かのん、うれしいこというのう。おつきくなるの、たのしみだなあ。」

といつていました。わたしのじじちゃんは、おこめづくりのせんせいだとおもいます。ぱぱは、じじちゃんから、こめづくりをおしえてもらっているせいとです。はるにうえた、なえは、ぐんぐんそだつて、9がつには、おこめにへんしんします。4がつに、わたしはなえはこにつちをつめるてつだいをしてみました。からのはこはもてるけど、きかい

にいれて、つちがはいつたはこはおもくてもません。じじちゃんは、おもたいはこを、なんかいものはこんでいて、よくつかれないなあとおもいました。たねまきをしたら、たねがかぜをひかないようになにあたためてあげて、のどがかわかないようにみずもあげて、まいにちなわしろにいつている、じじちゃんとぱぱはえらいなあとおもいました。5がつにかぞくみんなでするたうえは、わたしのうちのはるのいちだいいべんとです。ことしはじめてたうえきにのせてもらいました。たんぼのなかをはしたたうえきは、すびーどがあつて、かぜがすこしさむかつたです。ぱぱは、せんのないたんぼに、まつすぐなえをうえるのがむずかしいといつていきました。おこめをつくるのは、みんなでちからをあわせないとできないことだなあとおもいました。わたしや、いもうとがたいせつにされているようになります。おこめにもたくさんのがいじょうがこめられています。おおきくなつたら、じじちゃんとぱぱがせんせいになつて、わたしにおしえてね。わたしのつくるおこめは、どんなあじかな。

●全国優秀賞・山形県知事賞●

お米のたき方

米沢市立塩井小学校四年

佐藤 舜太

たり、つぶの大きさがちがつたり、なべのそこには茶色のこげの様な物がありました。すいはん器とちがい、水の量かたいている時間が少しでも変わるだけで、お米の見た目が変わらんだとお父さんから聞きました。

ぼくの家のすいはん器がまだ二年しか使っていないのに、この間、こわれてしまつた。電気屋さんに行つてしゅう理をおねがいしたら、しゅう理代が買つた時の半分くらいになるかもと言われました。しゅうりするのに三週間くらいかかるとも言されました。買いかるし、火はなべの横からぼうぼうと出るし、ごはんがたけるか心配でした。だけど、とてもおいしくたけていました。お姉ちゃんは、アルミカンを半分に切つてごはんをたいたことがあるそうです。ごはんをたく方法はいっぱいあるんだなと思いました。昔の人は毎回火を起こしてすごく手間をかけてごはんをたいていたそうです。今はボタン一つで毎日同じごはんが食べられるのかと思うとすごく進化したのだと思いました。

その日の夜、ふつうにごはんが出てきました。不思議に思い、お母さんに聞いてみると、なべでごはんをたいていたそうです。なべでたいたごはんの味は、いつもと変わらないのですが、日によつてはお米のかたさがちがつ

ぼくのお父さんは、ガスを使つてたいたごはんが一番おいしいと言っています。ぼくはそんなガスでたくさんて見たことも、きいたこともありません。一回食べてみたいですが、

とお父さんがじゅもんのようなことを言つていました。それは、「はじめちよろちよろ中ぱつぱ」「赤子泣いてもフタ取るな」です。このじゅもんの通りにごはんをたくとおいしいごはんになるそうです。ぼくは、お母さんと一緒にべでごはんをたいてみました。そしたらお父さんの言つていることがなんとなくわかりました。フタがずっとカタカタと音を出していました。とてもフタを取りたくなるのですが、お母さんには「まだだ。」と言われました。お母さんに言われた通りたき上がるまで持つてフタを取るとともにおいしそうなおいがしました。真っ白なおいしそうなごはんがたけていました。

ぼくの家のすいはん器はなおりましたが、小学校の給食のごはんは、何でたいているのです。でしょうか今度給食の先生に聞いてみたいであります。

そのごはんは、じょじょに「おかゆ」になつて、そのうちぼくたちがよくたべる「ごはん」になつた。白いごはんやたき込みごはん、おにぎりなど、色々なメニューがぼくたちの前にならんだ。

ぼくたちが大きくなるにつれて、おかまの中のごはんもふえていった。そしてついに、おかまいっぱいのごはんをたくようになつた。

ある日とつぜん、ぼくより年上のすいはんジャーが、動かなくなつた。あまりにもとつせんだつたけど、長い間がんばつてくれたんだと思つた。

弟たちが小さかつたころ、お母さんになにを作つているのかと聞くと、「おもゆ」を作つていると言られた。それは、おいしそうに見えなかつたけど、赤ちゃんが始めて食べる物だというのを後で知つた。

●山形県農業協同組合中央会会長賞● お米とぼくたち

南陽市立沖郷小学校四年

千田 悠悟

次の日、前よりも一回り大きなすいはんジャーにかわっていた。ずいぶん大きい物にかわったので、なぜかときくと、これからもつとたくさんごはんをたくようになるから、と言われた。

そして、あたらしいすいはんジャーで、前のりょうをたくと半分のりょうになつた。ぼくたちの成長にあわせてごはんはどこまでふえるんだろう。いつかこのすいはんジャーいっぱいにたく日がくるとはいわれたけど本当にそうなのかと思ってしまう。

でも、ぼくが小さいころよりも、ごはんのたりょうはふえたし、じつかのおばあちゃんからお米をもらう回数もふえている。

いつのまにか、弟たちのごはんちやわんがふえて、ぼくのごはんちやわんはお母さんの物より大きくなつた。もう少しするとお父さんの大きさをこえるのかなあと思う。

ごはんのたきかたや、たくりようや、たく道具は、ぼくたちの成長にあわせてかわっていくんだなと思う。

ぼくもはじめてごはんを食べてから、十年成長してきた。

今のはんじゅうでいっぱいにたくのはなん

ねんごだろう。

いっぱいのごはんをたくようになつたころぼくはなにをしているだろう。そうなつた時もみんなでたのしくごはんがたべたい。



●山形県知事賞●

僕のパワーの源

米沢市立第二中学校一年

鈴木 雄貴

僕は現在、天童にあるモンティディオ山形ジュニアユース村山というサッカーチームに所属している。

僕は現在、天童にあるモンティディオ山形ジュニアユース村山というサッカーチームに所属している。その練習場には、一時間かけて電車とバスを乗り継いで通っている。その電車の中では、練習に必要なエネルギーを取るために、毎回おにぎりを食べるようになっている。サッカーは、体と体をぶつけあつたり、長い距離を走り続けたり、試合の最後まで集中しなければならないスポーツだ。その為、練習終了後三十分以内のゴールデンタイムには、おにぎり、プロテイン、果物を食べている。なぜならエネルギーの回復と、筋肉疲労の回復のためだ。それを毎回続けていると、効果を自分の身体で感じる事ができるようになってきた。その効果は、試合で最後まで走りきれたり、体が強くなったりしたことだ。僕にとっておにぎり

は、大事なパワーの源だ。
おにぎりは、母と祖母が作ってくれる。毎回同じおにぎりだと僕があきると思い、毎回違う具を入れてくれるので毎回おいしく食べることができ。その中でも特に、母の作る焼きおにぎりと、祖母の作る炊き込みご飯のおにぎりが好きだ。それに、おにぎりには、母と祖母の愛情があり、おにぎりには、僕には欠かせない物なのだと思う。

以前、サッカーチームで栄養講習会があり、体を大きく、強くするためにはどうすれば良いかという事と、食事基礎知識や重要性について学んだ。そこで米はサッカーをする上で、とても重要な食べ物であることが分かった。米の栄養素は炭水化物と糖質であり、主な働きとしては、エネルギー源や集中力の維持である。そして、運動した後の体はエネルギーが減少し、筋肉が傷ついていたため、栄養補給する事が必要だ。つまり消耗したエネルギーを回復させるには、炭水化物である米を食べることが必要なのだ。この事を学んでからは、ご飯は、ただお腹がすいたから食べるのではなく、体のことを考えながら食べる

ようになつた。今は体を大きくするために、とにかくたくさん食べるようにしている。ご飯について学んだことで、改めてご飯の大切さや食べ方を考えることができたので良かったと思う。

僕の家には、野球部だつた高校三年の兄もいるので、十キロの米を毎週買つてゐるそうだ。ニュースでは、お米を食べない若者が増えていると耳にすることがある。しかし、僕の家は、全く違つていて、むしろ正反対だ。このニュースとは、全く無関係な僕の家。なぜ若者がお米離れしているのか疑問に思つたくらいだつた。

米という字は八十八と書くほど米作りにはたくさんの手間がかかると母から教えてもらつたことがある。実際に調べてみると種まきをする準備作業から始まり、僕が知つていた田うえや稻刈の他にもたくさんの手間がかゝっている。だから、お米にも料理を作つてくれた人にも感謝して残さず食べなければならぬと思つた。

ワードの源となるお米があるからだと思う。だから、家族やお米作りに係わるすべての人たちに感謝をしなければならない。おにぎりなどであれば、僕でも作ることができるので、今度は、僕がおにぎりなどを、家族の為に作り、今までの感謝の気持ちをおにぎりの中にギュッと込めておにぎりを作つてみたいと思う。



●山形県農業協同組合中央会会長賞●

食事に込める笑顔と感謝

山形市立第十中学校三年

伊藤 芽琉

わたしには、後悔していることがある。

それは、わたしが小学四年生の時。わたし、母、妹、曾祖母で昼食を食べに行くことになつた。店でわたしはふくれていた。自分の行きたい店に行けなかつたからだ。料理が運ばれてきてからもずっとふくれていた。一口食べて、美味しかつたけれど意地を張つてほとんど残してしまつたのだ。そんな自分が嫌になつて涙がでそうになつたことを覚えている。せつかく曾祖母が連れて行つてくれたのに。結局、曾祖母とご飯を食べに行つたのはこれが最初で最後になつてしまつた。二年後には亡くなつてしまつたのだ。この後悔を胸にしまつたまま、わたしは曾祖母に別れを告げた。なぜわたくしはもっと楽しく食事をすることができなかつたのだろう。もっと、ふくれている時間を惜しむべきだった。食事の場面で後悔が生まれたのは

これが初めてだつた。いつなにが起ころかわからぬ、毎日があたり前ではないこと、食事でどるコミュニケーションが大切だということをわかっているようでわかつていなかつたと気付いた。もつと一緒にご飯を食べたかった。

「連れてきてくれてありがとう。」

と伝えればよかつた。もう一度、一緒に食事をしたかつた。

しばらくして、わたしと母はあの店に行つた。料理が運ばれてくるのを見ているとあの時のことを思い出して少し切なくなつた。やはり、料理は全て美味しかつた。その中でもわたしが一番気に入つたのは、白粥だつた。白粥は、中国の朝食で食べられるということもあつてごくシンプルな粥だ。ほんのり塩気がついていて、噛めば噛むほどお米の甘みを引き出してくれる。その時、思い出した。曾祖母も白粥を食べていた。曾祖母も同じことを思つていたのだろうか。白粥はわたしにとって、改めてお米の魅力を教えてくれた存在であり、曾祖母を思い出させてくれるとしても大切な存在でもあるのだ。

今、わたしは、家族と食事をする時間をとて も楽しく感じている。理由は二つあると考えら

れる。

一つ目は、自分から積極的に話しかけることを意識し、会話の幅を広げることができたことだ。テレビ番組の話やその日学校であつたことなどを話すと、そこから話が広がって会話が途切れることも少なくなつたと思う。

二つ目は、お母さんが作ってくれるご飯がいつも美味しいのでみんな自然と笑顔になってしまふことだ。みんなが明るい表情になれば、楽しく感じるのはあたりまえだ。

お母さんの料理は、わたしにとつて一番だ。お弁当の時にはチャーハンにしたりチキンライスにしたりとご飯をアレンジしてくれる。手間を加えながらも、お米の良さはそのままいかされている母の料理がわたしは大好きだ。だが、作ってくれている母への感謝、食材への感謝を忘れて時々残してしまうことがある。しかしそのままではいけない。たくさんの人へのたくさんの「感謝」を伝えるためにも好き嫌いをせずに食事をしたいと思う。「命あるものを食べると、自分の中での命が生き続ける」とどこかで聞いたことがある。わたしたち人間は、たくさんの生き物と一緒に、命をもらつて生きているのだと思う。そのことを心

に刻んでおきたい。

わたしたちは毎日あたりまえのようにご飯を食べているけれど実はそれはなにも変えられないくらい幸せなことだと思う。その幸せを次世代へつなげていくにはどうしたらいいのだろう。考えて、迷つて、自分にできることを見つけていきたい。

これからも、感謝を込めて

「いただきます。」

「ごちそうさまでした。」



作文部門審査講評

昌彦

佐藤

山形大学附属小学校校長

第四十二回「ごはん・お米とわたし」作文コンクールには、全国の小・中学校から五万四千百十五点もの作品が寄せられました。山形県でも六十九校から三百八十点の作品の応募がありました。いずれの作品も、お米に関する体験や実感を大切にした、個性あふれる作品でした。それらの中から、全国審査において全国農業協同組合中央会長賞を始め二点が優秀賞を受賞され、県審査においては、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会长賞、県優秀賞、県学校奨励賞の各賞が選考されました。ここでは、県知事賞、県農業協同組合中央会会长賞を受賞された皆さん的作品を紹介します。

一部(小学校一年生から三年生)

○「つぶの大切さ」

(米沢市立興譲小学校三年 安部くるみ 山形県知事賞)
母と参加した笛巻作り教室の様子を丁寧に書き上げています。焦点を絞り込み、出来事や思いを詳細に描いていますので、伝えたいことがはつきりと伝わってきます。一番伝えたいことを一言にまとめた題名の付け方も大変効果的です。講師の先生の言葉から考えを深め、「つぶ」「つぶにこめられた作り手の思いに気づき、思いが変容していく姿にとても共感できます。

○「おこめづくりをみつめて」

(三川町立東郷小学校一年 佐藤花音 山形県農業協同組合中央会会长賞)

作品全体から、花音さんが家族からの愛情いっぱいに生活していることが読み取れ、大変素直で優しい視点から米作りを見つめていることが感じられる作品です。中でも、「たねがかぜをひかないように」「のどがかわかないようみずをあげて」という表現は稻への愛情が感じられます。自身や妹と同じように、お米も愛情をこめて育てられているという気づきや、将来米作りに携わりたい気持ちが率直に表れており、胸が温かくなります。

二部(小学校四年生から六年生)

○「お米のたき方」

(米沢市立塩井山小学校四年 佐藤舜太 全国優秀賞・山形県知事賞)
炊飯器の故障をきっかけに、米飯について考えていくという展開が読みべられるようになつたことのありがたさに気づいていく一方で、「はじめようろちよろ中ぱっぱ、赤子泣いてもふた取るな」という「呪文」のような言葉を実践することで、先人の知恵の素晴らしさにも気づいていきます。日

本の米飯文化の継承が、ほほえましい展開の中に上手に表現されています。

○「お米とぼくたち」

(南陽市立沖郷小学校四年 千田悠悟 山形県農業協同組合中央会会长賞)
炊飯器やご飯茶碗を大きなものに取り替えていく様子から、自身や兄弟の成長を振り返り、これから自分の成長に思いを馳せていくというテーマと展開が、オリジナリティーあふれる明るい作品です。更に、「おもゆ」から徐々に「おかゆ」になり、「ごはん」になっていくことなど、成長と米飯とのつながりを新たな視点からも捉えており、食生活をじっくりと見つめ直しているところも好感が持てます。

三部(中学生)

○「僕のパワーの源」

(米沢市立第一中学校一年 鈴木雄貴 山形県知事賞)
所属するサッカーチームでの栄養講習会で、炭水化物と糖質が人間のエネルギーの源であり、集中力を維持するために欠かせないものであることを学びます。改めて、「米作り」に係わる方々や、毎日おにぎりを作ってくれる母と祖母に感謝の気持ちを抱きます。母と祖母に感謝の気持ちを込めて、気持ちをギュっとつめ込んだおにぎりを作りたいという決意でまとめられた締めくくりから温かな気持ちが伝わってきます。

○「食事に込める笑顔と感謝」

(山形市立第十中学校三年 伊藤芽琉 山形県農業協同組合中央会会长賞)

曾祖母との最初で最後の外食の時に、不機嫌だった自身の後悔から話は始まります。その後、再度その店に食事に行き、当時のことを思い出しき、当時の曾祖母の気持ちに思いを馳せていきます。この経験を通して、食事に感謝しつつ、笑顔で食卓に向かうことの大切さと幸せを感じた芽琉さんは、次の世代にもつないでいきたいという思いを丁寧に綴っています。

県学校奨励賞

今年度の山形県学校奨励賞は、米沢市立塩井小学校と米沢第二中学が受賞されました。

図画部門審査講評

東根市立第一中学校校長

西塚 裕樹

第四十二回「ごはん・お米とわたし」図画コンクールには、全国の小・中学校から七万二千五百三十九点もの作品が寄せられました。内、山形県では、八百九十二点の作品の応募がありました。

次世代を担う小中学生のみなさんが、ふるさと山形の豊かな自然と食文化、あたたかい家族との絆の中で、ごはんやお米、日本の農業について体験したことや感動したことを描いた作品が多くありました。家族で囲む食卓に、あたたかいご飯やお祝いのお赤飯がある暮らしさ、どんなに幸せなことでしょう。素直な気持ちで描いた一つ一つの作品から、子どもたちの笑顔といのちが輝く感動にたくさん出会うことができました。

それらの作品の中で、全国審査において二点が文部科学大臣賞と全国優秀賞にそれぞれ輝きました。県審査では、山形県知事賞、山形県農業協同組合中央会会长賞、県優秀賞、県学校奨励賞の各賞が選考されましたみなさんの作品を紹介します。

一部(小学校一年生から三年生)

○「みんなでたべたおせきはん」

(山形大学附属小学校二年 和田紗采 山形県知事賞)

大勢で楽しく食卓をかこんでいる様子が、よく伝わってきます。お祝い事があつたのでしょうか。みんなうれしそうに集まっています。お赤飯にかけたごま塩までもよく表しています。画面全体を温かい幸せな色づかいで描作品です。

○「かえるやたにしがいつぱい」

(南陽市立漆山小学校二年 加藤朱葵 山形県農業協同組合中央会会长賞)

田植えをしている様子を楽しく描いています。絵の具を混ぜて土の色の感じをうまく表しました。田んぼの中で見つけた「かえる」や「たにし」も喜んでいるようです。手に大事に持っている苗を次々に植えたのでしあう。ちょっと冷たそうな水の動きもよく表れているいい作品です。

二部(小学校四年生から六年生)

○「今年も豊作だ!」

(尾花沢市立鶴子小学校五年 秋保大地 山形県知事賞)

きます。黄金色に輝く稲穂が、遠くの山々の緑と相まって、とても美しい画面になっています。一人一人が自分の仕事をがんばっている様子が、生き生きと描かれています。

○「ご飯もりもりおいしいな」

(東根市立大森小学校五年 元木煌瑛 山形県農業協同組合中央会会长賞)

炊きたてのごはんを卵かけごはんにして食べるのを楽しみしている様子が、顔の表情からあふれています。ごはんの粒の一つ一つを丁寧に描いていて、ごはんに対する愛情を感じます。おいしそうなおいままで、画面を通して伝わってくるようです。

三部(中学生)

○「お米料理は楽しさを生む」

(山形市立金井中学校一年 富樫優有 全国優秀賞・山形県知事賞)

今日は、とてもうれしい一日。お母さんに教えるもらいながら、お祝いの膳を飾る太巻きのお寿司を作りました。初めて自分で作つた太巻きのお寿司が上手にできて、とてもうれしそうな表情です。愛情一杯の親子の様子をあたたかな色彩で表現しています。また、背景になつていてるキッチンの隅々まで、心を込めて丁寧に描いています。

○「弟と田んぼ」

(山辺町立山辺中学校三年 石倉妃華 山形県農業協同組合中央会会长賞)

田植えが終わつたばかりの田んぼを背景に、元気な弟でしょうか。今、おいしそうにご飯を食べようとしている瞬間を生き生きと表現しています。収穫の秋を思い描きながら、感謝の気持ちと喜びに自然と笑顔もこぼれています。確かな描写力が、大変見事な作品です。

県学校奨励賞

今年度の山形県学校奨励賞は、山形大学附属小学校と山形市立金井中学校が受賞されました。

「ごはん・お米とわたし」作文・图画コンクール

第30回～第41回 入賞一覧

作 文 部 門 図 画 部 門

第36回	第35回	第34回	第33回	第32回	第31回
山形県 ●県知事賞 五十嵐まりあ(山形市) 土門 匠(天童市) 早川 舞乃(山形市) ●県中央会会長賞 大滝 楓人(鶴岡市) 伊藤 瑞圭(鶴岡市) 阿部 咲輝(鶴岡市) ●優秀賞 森 壮汰(村山市) 安達 凉乃(大石町) 阿部 夢叶(最上町) 横山 音陽(米沢市) 大滝 星矢(鶴岡市) 細矢 愛結(村山市) 矢萩 優生(村山市) 曾根 匠人(米沢市) 佐藤 亜美(鶴岡市) 渡部 さくら(鶴岡市) 太田 里美(米沢市) 渡部 羅夢(鶴岡市) 森谷 咲耶(東根市) 舟山 愛理(米沢市) 中村梨恵子(山形市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日大泉小学校 鶴岡市立朝日中学校	山形県 ●県知事賞 寺崎亞寿美(大石町) 工藤 暢晃(庄内町) 小野 西(朝日町) ●県中央会会長賞 佐藤 流偉(鶴岡市) 菅原彩花里(鶴岡市) 菅井 濬(朝日町) ●優秀賞 後藤 美空(米沢市) 菅原 菜央(鶴岡市) 鈴木 駿佑(大石町) 會田 空翔(山形市) 鈴木 花凜(米沢市) 伊藤南奈美(鶴岡市) 高橋 歩美(高畠町) 長沼龍之介(高畠町) 阿部 杏香(鶴岡市) 安部 航大(高畠町) 斉藤 元希(大石町) 斉藤 元希(大石町) 小林 一樹(寒河江市) 井上 玲(米沢市) 大橋 鉄郎(米沢市) 坂野 涼子(米沢市) 江部ひみ(米沢市) 菅澤 佑樹(山形市) ●学校奨励賞 大石田町立大石田小学校 朝日町立朝日中学校	山形県 ●県知事賞 伊藤南奈美(鶴岡市) 難波 美穂(鶴岡市) 平山 美紀(山形市) ●県中央会会長賞 今野 杏唯(鶴岡市) 菅 瑞季(最上町) 白石みおり(米沢市) ●優秀賞 原田 真白(米沢市) 會田 空翔(山形市) 押切 真依(最上町) 後藤 大空(米沢市) 押野 明純(鶴岡市) 高橋 歩美(高畠町) 長沼龍之介(高畠町) 阿部 杏香(鶴岡市) 安部 航大(高畠町) 近藤 舞(鶴岡市) 山下 純平(最上町) 遠藤 ゆい(鶴岡市) 渡部 加菜(米沢市) 高橋 奏(米沢市) 山口 大智(南陽市) 我妻 隆羅(米沢市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校 鶴岡市立朝日中学校	山形県 ●県知事賞 押野 明純(鶴岡市) 鈴木 彩(鶴岡市) 有賀この美(鶴岡市) ●県中央会会長賞 會田 空翔(山形市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 我妻 隆羅(米沢市) ●優秀賞 鈴木 彩(鶴岡市) 井上 秀香(真室川町) 山口 まの(鶴岡市) 伊藤南奈美(鶴岡市) 渡部 寿彦(鶴岡市) 黒井 紀香(鶴岡市) 瀬川 隼矢(庄内町) 金野 華奈(鶴岡市) 保科 扱也(鶴岡市) 尾形 有生(米沢市) 進藤小百合(米沢市) 小野寺奈々(鶴岡市) 櫻井 祥太(山形市) 安達 景都(鶴岡市) 小野寺千尋(鶴岡市) 久保 朝香(米沢市) 小野寺陽奈(鶴岡市) 佐藤 理奈(山形市) ●学校奨励賞 鶴岡市立斎小学校 鶴岡市立朝日中学校	山形県 ●県知事賞 瀬川 隼矢(庄内町) 河野 美波(鶴岡市) 佐藤 楓(鶴岡市) ●県中央会会長賞 後藤 怡(最上町) 上野 艦(鶴岡市) 山口 和華(天童市) ●優秀賞 渡部 寿彦(鶴岡市) 笠原妃奈乃(最上町) 伊藤南奈美(鶴岡市) 結城 誠(最上町) 佐藤麻捺夏(鶴岡市) 五十嵐春奈(最上町) 阿部紗世子(最上町) 菅 風沙(最上町) 引地加奈恵(最上町) 齋藤 央奈(山形市) 櫻井 祥太(山形市) 山口 愛実(南陽市) 小野寺千尋(鶴岡市) 佐藤 香理(鶴岡市) ●学校奨励賞 最上町立向町小学校 鶴岡市立第五中学校	山形県 ●県知事賞 原田 咲雪(米沢市) 大池 清士(米沢市) 大道寺 濬(米沢市) ●県中央会会長賞 佐藤 悠汰(鶴岡市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 榎本江里加(鶴岡市) ●優秀賞 伊藤 裕太(鶴岡市) 鈴木 彩(鶴岡市) 宮崎 俊也(鶴岡市) 情野 雪海(高畠町) 金野 華奈(鶴岡市) 渡部 実佳(最上町) 小野寺千尋(鶴岡市) 沖田 竜馬(米沢市) 有賀この美(鶴岡市) 遠藤 拓実(庄内町) 渡部 香菜(鶴岡市) 尾形 裕佳(鶴岡市) 橋本 美月(米沢市) 那須友賀子(山形市) 後藤 萌(鶴岡市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校 米沢市立第一中学校
全国 ●文部科学大臣賞 小林 千紗(高畠町) ●優秀賞 五十嵐まりあ(山形市) ●学校奨励賞 高畠町立第二中学校	全国 ●文部科学大臣賞 瀬川 隼矢(庄内町) ●農林水産大臣賞 石森 泉(鶴岡市) ●学校奨励賞 庄内町立余目第四小学校 鶴岡市立鶴岡第四中学校	全国 ●農林水産大臣賞 齊藤 隼也(鶴岡市) ●学校奨励賞 鶴岡市立西郷小学校 ●優秀賞 白石みおり(米沢市) 平山 美紀(山形市)	全国 ●優秀賞 鈴木 彩(鶴岡市)	全国 ●文部科学大臣賞 金野 華奈(鶴岡市) ●全国中央会会長賞 高橋 理久(村山市) ●学校奨励賞 鶴岡市立羽黒第三小学校 ●優秀賞 佐藤 楓(鶴岡市)	全国 ●優秀賞 大池 清士(米沢市) 大道寺 濬(米沢市)
山形県 ●県知事賞 斎藤 匠(東根市) 溝越 真輝(尾花沢市) 大滝 日菜(山形市) ●県中央会会長賞 星川 悠人(尾花沢市) 小幡 あみ(尾花沢市) 半田さつき(山形市) ●優秀賞 越前 快斗(尾花沢市) 尾崎 李果(尾花沢市) 笛原 優極(尾花沢市) 叶野 空和(鶴岡市) 宇田 竜健(庄内町) 東海林玲奈(尾花沢市) 本間 海成(尾花沢市) 小幡 圭佑(尾花沢市) 三浦 幸司(尾花沢市) 佐藤 俊貴(鶴岡市) 進藤 円(山形市) 梅木 泉美(山形市) 高橋 真優(山形市) 横沢 美玖(山形市) 齋藤 光(南陽市) ●学校奨励賞 尾花沢市立福原中部小学校 山形市立第九中学校	山形県 ●県知事賞 柴崎 真人(最上町) 森谷 康平(山形市) 原田 拓夢(山形市) ●県中央会会長賞 加賀 悠大(鶴岡市) 小幡 圭佑(尾花沢市) 荒井 瑞絵(山形市) ●優秀賞 高橋 龍馬(大石町) 鈴木 来春(尾花沢市) 笛原 実莉(尾花沢市) 五十嵐一樹(尾花沢市) 西塙 英太(尾花沢市) 星 竜成(米沢市) 佐藤 一貴(庄内町) 五十嵐友寿(鶴岡市) 佐藤 俊貴(鶴岡市) 押野 尚道(鶴岡市) 大滝 日菜(山形市) 高橋 里沙(山形市) 吉田 心(山形市) 遠藤 千央(山形市) 鈴木 里奈(山形市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝陽第二小学校 山形市立金井中学校	山形県 ●県知事賞 丹波 優大(尾花沢市) 森谷 康平(山形市) 鈴木 智佳(山形市) ●県中央会会長賞 菅 佑菜(最上町) 小幡 剛(尾花沢市) 武田可奈子(山形市) ●優秀賞 伊藤日向子(鶴岡市) 廣瀬 佳那(尾花沢市) 平井 堅太(高畠町) 五十嵐一樹(尾花沢市) 宮崎 泰成(鶴岡市) 西尾 文佳(尾花沢市) 星 竜成(米沢市) 佐藤 崇人(鶴岡市) 海谷 有美(高畠町) 佐賀井千里(鶴岡市) 高橋 捷(尾花沢市) 今野杏有子(三川町) 前田 和哉(鶴岡市) 荒井 瑞絵(山形市) 田中 敦子(山形市) 阿部 浩宜(山形市) 遠藤 千央(山形市) 鈴木 彩希(山形市) ●学校奨励賞 尾花沢市立明徳小学校 山形市立第九中学校	山形県 ●県知事賞 阿部 篤(尾花沢市) 會田 次郎(山形市) 武田可奈子(山形市) ●県中央会会長賞 菅野 虹(尾花沢市) 押野 尚道(鶴岡市) 岡部 咲(酒田市) ●優秀賞 島津 謙(高畠町) 加藤 翔龍(尾花沢市) 佐藤 愛竜(尾花沢市) 藤井 美名保(尾花沢市) 西尾 文佳(尾花沢市) 佐藤 崇人(鶴岡市) 伊藤 陸(天童市) 今野杏有子(三川町) 藤田 麗(鶴岡市) 藤田 麗(鶴岡市) 井上 和也(尾花沢市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 渡邊 千咲(山形市) 佐藤 緑(山形市) 渡邊 千咲(山形市) 上林 徳末(山形市) 鈴木 里奈(山形市) 丸田 駿平(尾花沢市) 羽角 莉(山形市) 島津 桃子(米沢市) 石井 志織(山形市) 橋本明香里(山形市) 中村 実那(山形市) ●学校奨励賞 尾花沢市立慶應小学校 山形市立金井中学校	山形県 ●県知事賞 佐藤 永一(尾花沢市) 花山 伶奈(寒河江市) 堀野 佑衣(山形市) ●県中央会会長賞 森谷 康平(山形市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 垂石 杏(山形市) ●優秀賞 三澤 悠花(尾花沢市) 鈴木 芹奈(鶴岡市) 本間 智広(尾花沢市) 押野 尚道(鶴岡市) 吉田 周平(尾花沢市) 森 謙太(尾花沢市) 原田 紘(高畠町) 菅野 静香(尾花沢市) 菅澤 佑樹(山形市) 丸田 駿平(尾花沢市) 羽角 莉(山形市) 島津 桃子(米沢市) 石井 志織(山形市) 橋本明香里(山形市) 中村 実那(山形市) ●学校奨励賞 寒河江市立慶應小学校 山形市立金井中学校	山形県 ●県知事賞 會田 三郎(山形市) 今野芙季子(三川町) 齋藤 里沙(山形市) ●県中央会会長賞 押野 尚道(鶴岡市) 伊藤 浩司(鶴岡市) 玉虫 正和(米沢市) ●優秀賞 佐藤 俊貴(鶴岡市) 高橋 翔太(高畠町) 小黒 拓真(高畠町) 長谷川 舞(鶴岡市) 佐藤 琳(尾花沢市) 東海林 道(尾花沢市) 上林 晃(鶴岡市) 森谷 麻衣(山形市) 佐藤 瑞貴(鶴岡市) 西塙 裕斗(尾花沢市) 長岡 佑佳(山形市) 大木 折也(米沢市) 石川紗己子(米沢市) 佐藤 広康(山形市) 志田 優花(山形市) ●学校奨励賞 尾花沢市立福原中部小学校 米沢市立第六中学校
全国 ●優秀賞 半田さつき(山形市)	全国 ●農林水産大臣賞 西田 知世(山形市) ●学校奨励賞 山形市立第九中学校	全国 ●農林水産大臣賞 會田 三郎(山形市) ●学校奨励賞 山形市立南小学校 ●優秀賞 鈴木 智佳(山形市)	全国 ●農林水産大臣賞 栗野 梨恵(山形市) ●学校奨励賞 山形市立第九中学校 ●優秀賞 會田 次郎(山形市)	全国 ●農林水産大臣賞 會田 三郎(山形市) 堀野 佑衣(山形市) ●優秀賞 花山 伶奈(寒河江市) 小野寺百萬(鶴岡市)	全国 ●農林水産大臣賞 須藤 萌(山形市) ●学校奨励賞 山形市立第九中学校 ●優秀賞 會田 三郎(山形市) 今野芙季子(三川町)

第42回	第41回	第40回	第39回	第38回	第37回
山形県 ●県知事賞 安部くるみ(米沢市) 佐藤舜太(米沢市) 鈴木雄貴(米沢市) ●県中央会会長賞 佐藤花音(三川町) 千田悠悟(南陽市) 伊藤芽琉(山形市) ●優秀賞 鈴木萌音(山形市) 佐藤純真(高畠町) 齊藤逞真(最上町) 阿部璃空(新庄市) 手塚遙斗(高畠町) 手塚大地(米沢市) 加藤響(大蔵村) 井上櫻子(高畠町) 星七菜子(新庄市) 阿部真宙(最上町) 平清水なおり(山形市) 高橋陸斗(山形市) 大橋彩未(米沢市) 佐藤慶太郎(川西町) 鈴木広美(米沢市) ●学校奨励賞 米沢市立塩井小学校 米沢市立第二中学校	山形県 ●県知事賞 野川裕太(米沢市) 高橋悠太(天童市) 佐藤百華(米沢市) ●県中央会会長賞 木内春陽(東根市) 伊藤晴夏(三川町) 松本季子(米沢市) ●優秀賞 鈴木あこ(庄内町) 安部くるみ(米沢市) 中川峻(南陽市) 木内春陽(東根市) 早坂涼太(東根市) 川田健太(新庄市) 笠原莉玖(新庄市) 小下健太(高畠町) 田中空來(寒河江市) 佐藤弥桜(鶴岡市) 庄司潤一郎(真室川町) ●学校奨励賞 天童市立津山小学校 米沢市立第二中学校	山形県 ●県知事賞 鈴木佑佳(山形市) 佐藤虎太朗(真室川町) 吉田ゆい(米沢市) ●県中央会会長賞 畠腹里玖(新庄市) 伊藤青木(新庄市) 山口雅乃(鶴岡市) ●優秀賞 安部くるみ(米沢市) 中川峻(南陽市) 木内春陽(東根市) 早坂涼太(東根市) 川田健太(新庄市) 笠原莉玖(新庄市) 小下健太(高畠町) 田中空來(寒河江市) 高野穂乃花(山形市) 伊藤寧音(山形市) ●学校奨励賞 新庄市立萩野小学校 米沢市立第三中学校	山形県 ●県知事賞 門脇陽希(大蔵村) 後藤芽衣(河北町) 森村春輝(山形市) ●県中央会会長賞 軽部翔真(寒河江市) 青木実央(新庄市) 留守めぐみ(米沢市) ●優秀賞 後藤天星(最上町) 中川颯真(東根市) 加藤響(大蔵村) 後藤有璃(高畠町) 伊藤准輝亞(高畠町) 小澤爽太(白鷹町) 五十嵐広大(鶴岡市) 丸山美優(鶴岡市) 打田ゆらら(白鷹町) 荒木怜(最上町) 八巻怜花(米沢市) 山口雅乃(鶴岡市) 今野佑香(米沢市) 渋江初菜(山形市) 井上砂城(鶴岡市) ●学校奨励賞 大蔵村立大蔵小学校 山形市立第三中学校	山形県 ●県知事賞 佐々木美耀(米沢市) 高橋満里奈(新庄市) 小野寺涼太(鶴岡市) ●県中央会会長賞 阿部聖音(酒田市) 佐藤礼夢(鶴岡市) 安部優香(米沢市) ●優秀賞 上林奈央(鶴岡市) 津藤奏(山形市) 小野幸治郎(大蔵村) 早坂大翔(大蔵村) 安部真桜(米沢市) 小澤健人(米沢市) 諏訪琳音(鶴岡市) 丸山星矢(鶴岡市) 佐藤陽理(南陽市) 伊藤日高(鶴岡市) 伊藤優太(山形市) 鈴木千絵(南陽市) 高橋真惟子(南陽市) 石原花凜(飯豊町) 清和怜真(鶴岡市) ●学校奨励賞 大蔵村立大蔵小学校 鶴岡市立朝日中学校	山形県 ●県知事賞 伊藤風牙(鶴岡市) 井上瑞貴(山形市) 松㟢大吾(米沢市) ●県中央会会長賞 佐竹巧(山形市) 笹本悠奈(庄内町) 我妻隆太朗(米沢市) ●優秀賞 早坂大翔(大蔵村) 朝倉愛子(南陽市) 丸山美優(鶴岡市) 渋谷結(鶴岡市) 佐藤光(鶴岡市) 池田結(庄内町) 會田空翔(山形市) 森優奈(米沢市) 佐藤みのり(庄内町) 齋藤結月(鶴岡市) 須貝麗夢(米沢市) 小野寺拓海(鶴岡市) 高内澤奈(山形市) 井上れな(鶴岡市) 遠藤美月(鶴岡市) ●学校奨励賞 鶴岡市立朝日小学校 米沢市立第四中学校
全国 ●全国農業協同組合 中央会会長賞 早坂佑羽(大蔵村) ●優秀賞 佐藤舜太(米沢市)	全国 ●優秀賞 野川裕太(米沢市) 高橋悠太(天童市) 佐藤百華(米沢市)	全国 ●全国農業協同組合 中央会会長賞 後藤天羽(最上町) ●優秀賞 吉田ゆい(米沢市)	全国 ●農林水産大臣賞 松浦蒼一郎(庄内町) ●優秀賞 門脇陽希(大蔵村) 後藤芽衣(河北町) 森村春輝(山形市) ●学校奨励賞 庄内町立余目第一小学校	全国 ●優秀賞 小野寺涼太(鶴岡市)	全国 ●優秀賞 伊藤風牙(鶴岡市) 井上瑞貴(米沢市) 松㟢大吾(米沢市)
山形県 ●県知事賞 和田紗采(山形市) 秋保大地(尾花沢市) 富樫優有(山形市) ●県中央会会長賞 加藤朱葵(南陽市) 元木煌瑛(東根市) 石倉妃華(山辺町) ●優秀賞 小野健太郎(山形市) 佐藤この実(鶴岡市) 佐藤明咲(最上町) 手塚遙斗(高畠町) 浦山結羽(米沢市) 富樫太一(尾花沢市) 二瓶耕太(山形市) 三坂琉璃(尾花沢市) 志村直太郎(尾花沢市) 澤悦菜(高畠町) 渡邊和哉(山形市) 齋藤桃々(山形市) 松田桃香(鶴岡市) 鈴木里桜(米沢市) 箱山妃南(新庄市) ●学校奨励賞 山形大学附属小学校 山形市立金井中学校	山形県 ●県知事賞 鈴木大智(高畠町) 後藤早希(東根市) 佐藤龍心(鶴岡市) ●県中央会会長賞 安野世那(尾花沢市) 渡部蓮(鶴岡市) 村山姫弥(山辺町) ●優秀賞 加賀山蒼(鶴岡市) 三坂明日樂(尾花沢市) 佐藤明咲(最上町) 山川大翔(山形市) 石山裕士(尾花沢市) 伊藤愛陽(尾花沢市) 高橋悠太(天童市) 二瓶耕太(山形市) 三坂琉璃(尾花沢市) 志村直太郎(尾花沢市) 澤悦菜(高畠町) 渡邊和哉(山形市) 齋藤桃々(山形市) 松田桃香(鶴岡市) 鈴木里桜(米沢市) 箱山妃南(新庄市) ●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校 山形市立金井中学校	山形県 ●県知事賞 熊谷飛悠吾(尾花沢市) 伊藤拓磨(尾花沢市) 鎌田龍也(山辺町) ●県中央会会長賞 金内大和(鶴岡市) 伊藤未希(尾花沢市) 工藤千慧(山形市) ●優秀賞 石山竜成(最上町) 松田紗和(鶴岡市) 高橋晴(最上町) 星七菜子(新庄市) 大野慈和(尾花沢市) 柴崎大和(尾花沢市) 齋藤詩歩(鶴岡市) 原田麗(尾花沢市) 大江誓羅(尾花沢市) 稻村大和(大蔵村) 田中未咲(山形市) 石澤元乾(山辺町) 田辺理紗(飯豊町) 中島彩(山形市) 佐藤龍心(鶴岡市) ●学校奨励賞 尾花沢市立鶴子小学校 山形市立金井中学校	山形県 ●県知事賞 三嶋優(尾花沢市) 佐藤ひより(山形市) ●県中央会会長賞 鈴木佑奈(大石田町) 遠藤陸冬(尾花沢市) ●優秀賞 星川葵(尾花沢市) 原田結奈(尾花沢市) 星川椿(尾花沢市) 矢作結苺(尾花沢市) 富樫智花(山形市) 小野慈和(尾花沢市) 今野泰成(尾花沢市) 五十嵐雄汰(鶴岡市) 佐藤夏都(鶴岡市) 菅藤心菜(尾花沢市) ●学校奨励賞 尾花沢市立鶴子小学校	山形県 ●県知事賞 阿部大翔(尾花沢市) 二瓶寛太(山形市) 平間杏奈(山形市) ●県中央会会長賞 江刺さくら(尾花沢市) 早坂美羽(尾花沢市) 本澤育実(山形市) ●優秀賞 星川葵(尾花沢市) 堀江星琉(尾花沢市) 笛原月吹(尾花沢市) 佐藤愛心(村山市) 佐藤なお(鶴岡市) 渡辺成美(尾花沢市) 鈴木来春(尾花沢市) 五十嵐雄汰(鶴岡市) 菅藤優成(尾花沢市) 佐藤花玲(鶴岡市) 井上楓(山形市) 山口桃佳(山形市) 枝松伶奈(山形市) 藤原優衣(山形市) 齋藤穂歌(山形市) ●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校 山形市立第九中学校	山形県 ●県知事賞 押切零旺(尾花沢市) 渡辺成美(尾花沢市) 高橋綾香(山形市) ●県中央会会長賞 渡會圭悟(尾花沢市) 日下和也(高畠町) 竹田夏奈子(山形市) ●優秀賞 三浦匠悟(尾花沢市) 小林由侑(尾花沢市) 伊藤拓磨(尾花沢市) 西尾真央(尾花沢市) 叶野空和(鶴岡市) 長永千佳(庄内町) 吉田京次郎(山形市) 柴田唯斗(天童市) 砂田千夢(鶴岡市) 東海林玲奈(尾花沢市) 平間杏奈(山形市) 秋葉ひなの(山形市) 渡邊美佑(山形市) 平吹百恵(山形市) 鎌田美乃里(山形市) ●学校奨励賞 尾花沢市立福原中部小学校 山形市立金井中学校
全国 ●文部科学大臣賞 井上花帆(尾花沢市) ●優秀賞 富樫優有(山形市) ●学校奨励賞 尾花沢市立尾花沢小学校	全国 ●優秀賞 鈴木大智(高畠町)	全国	全国	全国 ●優秀賞 平間杏奈(山形市)	全国 ●農林水産大臣賞 志田葉月(山形市) ●学校奨励賞 山形市立第九中学校

作文部

門

図画部

部

門

第42回

「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール審査経過の概要

■応募数

作文：380点
図画：892点 合計 1,272点

区分	1部	2部	3部	計
作文部門	133点	161点	86点	380点
図画部門	500点	344点	48点	892点

■審査

(1) 県予選審査期日

作文部門 平成29年10月16日(月)
図画部門 平成29年10月26日(木)

(2) 全国コンクール審査期日

作文部門 平成29年11月28日(火)
図画部門 平成29年11月29日(水)

(3) 県コンクール審査期日

期日：平成30年 1月17日(水)
(作文・図画部門合同で開催)

■審査委員

【県コンクール】

作文部門 (5名)

審査委員長 佐藤 昌彦 (山形大学附属小学校 校長)
星 淳一 (山形市立第十中学校 校長)
石澤 友章 (山形市立滝山小学校 主幹教諭)
高橋 夏奈 (南陽市立中川小学校 教諭)
櫻井 真理 (東根市立大富中学校 教諭)

図画部門 (3名)

審査委員長 西塙 裕樹 (東根市立第一中学校 校長)
大内 孔司 (山形市立南小学校 教頭)
高内 啓子 (山形市立滝山小学校 教諭)

■審査結果

(1) 全国コンクール (県内入賞者(校)数)

- ・文部科学大臣賞 図画部門1名
- ・全国農業協同組合中央会会長賞 作文部門1名
- ・優秀賞 作文部門1名
図画部門1名

(2) 県コンクール

- ・山形県知事賞 作文部門3名／図画部門3名
- ・山形県農業協同組合中央会会長賞 作文部門3名／図画部門3名
- ・優秀賞 作文部門15名／図画部門15名
- ・学校奨励賞 作文部門2校／図画部門2校

■表彰式

期日：平成30年2月18日(日)

会場：山形市「山形国際ホテル」

年度	部門	1部	2部	3部	合計
12 (第25回)	作文 図画	65 495	122 311	112 9	299 815
13 (第26回)	作文 図画	45 731	143 408	91 16	279 1,155
14 (第27回)	作文 図画	91 688	98 417	132 23	321 1,128
15 (第28回)	作文 図画	87 771	82 589	189 30	358 1,390
16 (第29回)	作文 図画	50 449	157 468	129 29	336 946
17 (第30回)	作文 図画	67 523	87 496	156 37	310 1,056
18 (第31回)	作文 図画	33 429	217 499	227 29	477 957
19 (第32回)	作文 図画	44 488	117 418	225 27	386 933
20 (第33回)	作文 図画	58 550	84 412	231 27	373 989
21 (第34回)	作文 図画	77 521	95 376	235 26	407 923
22 (第35回)	作文 図画	68 531	151 308	196 67	415 906
23 (第36回)	作文 図画	56 531	66 290	266 32	388 853
24 (第37回)	作文 図画	51 424	61 309	211 36	323 769
25 (第38回)	作文 図画	56 450	83 372	150 19	289 841
26 (第39回)	作文 図画	95 353	134 382	150 19	379 754
27 (第40回)	作文 図画	122 353	167 370	178 45	467 768
28 (第41回)	作文 図画	124 464	165 361	121 64	410 889
29 (第42回)	作文 図画	133 500	161 344	86 48	380 892

作文1部

●全国農業協同組合 中央会会長賞●

「かぞくのチームワーク」

大蔵村立大蔵小学校2年

早坂 佑羽 さん

かぞくのチームワーク

大蔵小二年 早さか ゆうわ

あした、なえつくり、手つだてくわ。

めずらしく、おとうさんが、そう言いました。

ぼくは、すぐに、

いいよ。

と答えました。前からおにいちやんが手つだていたからです。いつもは、おとうさんとおさんとおにいちやんとばあちゃんがなえが、あさんとおにいちやんが手つくりをします。でも、ばあちゃんがつかれていて、一人だとたいへんなので、ぼくかはあちゃんのしごとを手つだうのです。

つぎの日、ぼくは、朝早く目がさめました。いよいよ、なえつくりがはじまります。ぼくはあちゃんは、はこに紙をしいて、きかいに入りました。さかいのスイッチをおすと、土がドサッとおちてきました。おとこ

うさんは、ぼくたうちがつく、たはこの土にたれを入れます。たねが小さくてとりずらくて、たいへんそうだなと思いました。おかあさんか、そのはこをトラックまではっこびます。向回もはこぶので、たいへんそうです。おにいごとです。水も入れます。刀もうちだから、こ人のしごとができるのです。ぼくは、かぞくみんなのチームワークがとてもいいと恩いました。いつもぼくがたべているおいしそうなごめか、こうや、てできていろんだと思ふと、お手つだいにも力が入りました。けうわ、じょうずだな。

と、おかあさんかほめてくれました。ぼくはますますはりきりました。かんたんだけれど、何十回もやつていると、足がいたくなりました。でも、みんなのために、おいしいおこめをつくるために、がんばりました。こめがたべたいなと思ひました。



みんなの
よい食
プロジェクト



つや姫

TSUYAHIME